

【働く DB】API 連携仕様書 設定マニュアル

第 1 版 2015.02.08

第 2 版 2015.12.12

第 3 版 2016.08.03

第 4 版 2017.05.07

第 5 版 2017.06.08

第 6 版 2018.01.22

第 7 版 2018.03.05

第 8 版 2018.03.19

第 9 版 2018.10.01

目次

概要	3
前提条件	3
リクエスト方式	4
API トークン	5
パラメータについて	7
制限事項	7
レスポンスについて	9
レスポンスのエスケープについて	14
実行結果サンプル	15
ファイルアップロード API	18
CSV ファイルインポート API	19
CSV データインポート API	21
CSV インポート状況確認 API	23
CSV エクスポート API	25
レコード登録 API	27
レコード更新 API	33
レコード削除 API	38
レコード参照 API	40
サンプルプログラム(PHP・JAVA)	43
働く DB サポート窓口	43

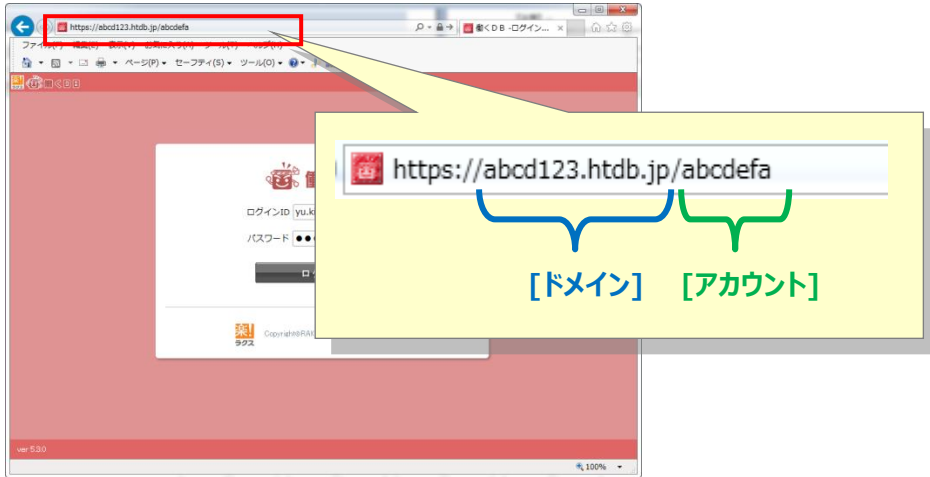
概要

- 本書は、【働く DB】の「API 連携機能」の利用方法と注意事項について記述しています。

前提条件

- API 連携オプションを契約していること。
- API 連携オプション用の IP アクセス制限が設定されていること。

リクエスト方式

通信方式	HTTPS (POST)						
文字コード	UTF-8						
URL	<p>https://【ドメイン】/【アカウント】/api/【API 名】/version/【API バージョン】</p>  <p>例 : https://hdtest.htdb.jp/abcdefa/api/fileupload/version/v1</p> <p>【hdtest.htdb.jp】が利用するドメインになります。 【abcdefa】が利用するアカウントになります。 【api/fileupload/】が API の URL になります。※例では「fileupload」になります。 【version/v1】が API バージョンの指定になります。 ※パラメータ・バージョンは各 API の説明を参照してください。</p>						
ヘッダ	<p>以下のリクエストヘッダを指定してください。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ヘッダ</th><th>備考</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Content-Type: application/json; charset=utf-8</td><td>一部の API を除いて、必ず指定。 詳細は各 API のページを参照のこと</td></tr> <tr> <td>X-HD-apitoken:\${API トークン}</td><td>必ず指定。 API トークンについては【API トークン】を参照。</td></tr> </tbody> </table>	ヘッダ	備考	Content-Type: application/json; charset=utf-8	一部の API を除いて、必ず指定。 詳細は各 API のページを参照のこと	X-HD-apitoken:\${API トークン}	必ず指定。 API トークンについては 【API トークン】 を参照。
ヘッダ	備考						
Content-Type: application/json; charset=utf-8	一部の API を除いて、必ず指定。 詳細は各 API のページを参照のこと						
X-HD-apitoken:\${API トークン}	必ず指定。 API トークンについては 【API トークン】 を参照。						

API トークン

【API トークンとは】

- ・「働く DB」の API の利用時に認証用キーとして使用する文字列です。
- ・API トークンは「働く DB」のユーザ単位に発行することができます。

【API トークンの管理】

- ・「ユーザ設定画面」より、以下の処理が行えます。
 - ※「ユーザ設定画面」には、「TOP> 管理者設定> ユーザ設定一覧> ユーザ情報設定」から遷移できます。

◆API トークンの発行

- ・API トークン欄の「生成」リンクをクリックすることで、API トークンが生成されます。
- ・生成後、**「確定」ボタンをクリックすることにより**、登録が完了し、API が使用できる状態になります。

APIトークン	<div>APIトークンは生成されていません。</div> <div>[生成]</div>
APIトークン	<div>zacPiwMFErajF7zi95pxEgnWkDoZWkMrDbP0nV4VwdbtT9sOpqTLJpwNULjlvvT</div> <div>[再生成] [削除]</div> <div>確定ボタンを押すとAPIトークンが有効になります。</div>

◆API トークンの再発行

- ・API トークン欄の「再生成」リンクをクリックすることにより、API トークンが再生成されます。
- ・再生成後、**「確定」ボタンをクリックすることにより**、再生成後の API トークンが登録されます。

API トークン	<div>Ek19r63oo5cTNraA0sXx3h6G2rhALNYPyPPfMJJ1EmKRTISKUp7NM4UFI1FxFeC3</div> <div>[再生成] [削除]</div>
----------	---

↓

API トークン	<div>zacP iWMFerajF7zi95pxEgnWkDoZWkMrDbP0nV4VwdbtT9sOpgTLJpwNULjkyT</div> <div>[再生成] [削除]</div> <div>確定ボタンを押すとAPI トークンが有効になります。</div>
----------	--

◆API トークンの削除

- ・API トークン欄の「削除」リンクをクリックすることにより、API トークンが削除されます。
- ・削除後、**「確定」ボタンをクリックすることにより**、API が使用できない状態になります。

API トークン	<div>Ek19r63oo5cTNraA0sXx3h6G2rhALNYPyPPfMJJ1EmKRTISKUp7NM4UFI1FxFeC3</div> <div>[再生成] [削除]</div>
----------	---

↓

API トークン	<div>API トークンは生成されていません。</div> <div>[生成]</div> <div>確定ボタンを押すとAPI トークンが削除されます。</div>
----------	---

パラメータについて

各種 API に設定するパラメータについては、「管理者設定（システム設定）＞ API パラメータ情報」から取得できます。

管理者設定(システム設定) > APIパラメータ情報

⚙️ APIパラメータ情報

[⏪ 管理者設定に戻る](#)

対象のAPI、DBグループ、データベースを選択してください。

API	CSVインポートAPI ▼
DBグループ	APIテスト ▼
データベース	商品マスタ ▼

データベースID（パラメータ名: dbSchemaId）

データベースID	104303
----------	--------

インポート設定ID（パラメータ名: importId）

商品マスタインポート	101969
季節商品用	101970
単価更新	101971
新商品投入	101972

制限事項

◆リクエスト数について

- ・1 アカウント毎に 1 分間で 20 リクエスト (0.33qps)
- ・CSV インポート／エクスポート関連 API
 - 以下の API の 1 分間のリクエストの合計が 20 リクエスト
 - ファイルアップロード API
 - CSV ファイルアップロード API
 - CSV データインポート API
 - CSV インポート状況確認 API
 - CSV エクスポート API
- ・レコード操作関連 API
 - 以下の API の 1 分間のリクエストの合計が 20 リクエスト
 - レコード登録 API
 - レコード更新 API
 - レコード削除 API

【働く DB】API 連携 設定マニュアル

以下の API の 1 分間のリクエストの合計が 20 リクエスト
レコード参照 API

◆アップロードファイルサイズの上限

- ・1 リクエストで最大 2MB

◆IP アクセス制限の変更

- ・「全体詳細設定画面」の API のアクセス制限欄より、API 接続元の IP アドレスを追加・削除・変更を行って下さい。

※「全体詳細設定画面」には、「TOP> 管理者設定> システム設定> 全体詳細設定」から遷移できます。

レスポンスについて

以下の情報を、JSON 形式でレスポンスを受け取ることができます。

ただし、一部の API では JSON 形式でないものもあります。詳細は各 API の仕様をご確認ください。

パラメータ	名称	説明
status	ステータス	リクエストが成功したかどうか (success:成功 error:異常)
code	レスポンスコード	
url	リクエスト URL	
query ↳ \${key of parameter}	リクエストパラメータ	リクエストパラメータとその値を配列で格納します。
count	取得・更新件数	
version	API のバージョン	
service	サービス名称	
accessTime	アクセス日時	
items ↳ \${each field name}	取得データ	レコード取得等で取得したデータを配列で格納します。
processId	プロセス ID	キューイングが必要な処理の場合、処理を示す ID を格納します。
processStatus	バッチの状態	キューイングが必要な処理の場合、現在の状態を格納します。 (wait:待ち active:実行中 complete:完了)
errors	エラー情報	エラー情報を格納します。
↳ code	エラーコード	
↳ msg	エラー状態	
↳ description	詳細情報	入力エラーの場合、各入力項目の詳細なエラー情報を格納します。
↳ name	パラメータ名	
↳ value	パラメータ値	
↳ code	詳細コード	
↳ msg	エラーメッセージ	

【レスポンスコード】

レスポンスのボディ部に書かれたレスポンスコードから、リクエストの成功・失敗を判別することが可能です。

HTTP のステータスコードも同様の値を返却します。

レスポンス コード	状態	備考
200	成功	-
400	通常エラー	入力エラー等、アプリケーションが検出するエラー
401	認証エラー	認証失敗、必要な権限がない場合のエラー
402	API 未契約	API 機能が利用できない場合のエラー
404	対象 URI なし、アクセス権なし	URI の指定が間違っている、指定したデータが存在しない場合のエラー
413	リクエスト容量超過	最大リクエスト容量を超える容量のリクエストが送信された場合のエラー
429	リクエスト回数超過	最大アクセス数を超える回数のリクエストが送信された場合のエラー
500	内部エラー	予期しないエラー (※本エラーが発生した時は 【働く DB サポート窓口】 までご連絡ください。)
503	メンテナンス中	Maintenance Mode (※メンテナンス日時は前もってお知らせ致します。お手数をおかけいたしますが、メンテナンス時のアクセスは控えていただきますよう、よろしくお願い致します。)

【エラーコード】

レスポンスのボディ部に書かれたエラーコードから、エラーの理由を判別することが可能です。

レスポンス コード	エラー コード	状態	メッセージ
200	-	成功	-
400	100	入力エラー	パラメータが不正です。
400	200	対象データなし	CSV 出力するには一覧画面の表示設定が必要です。
400	201	重複エラー	-
401	1	認証エラー	認証エラーです。
402	2	API 未契約	API 連携オプションが未契約です。
403	7	アクセス権なし	アクセスが拒否されました。
404	3	対象 URI なし	URL が存在しません。 指定されたバージョンの API は存在しません。
413	5	リクエスト容量超過	-
429	6	リクエスト回数超過	API の実行回数が制限を超えました。
503	900	メンテナンス中	-
500	999	内部エラー	内部エラーが発生しました。

また入力エラー(エラーコード：100)については各項目の詳細なエラー情報も確認することが可能です。

エラー コード	詳細 コード	状態	メッセージ
100	1	必須エラー	必須項目です。
100	2	型エラー	型が正しくありません。
100	3	範囲外(下限)エラー	-
100	4	範囲外(上限)エラー	上限値（%num%）を超えています。
100	5	桁数不足	-
100	6	桁数超過	-
100	7	フォーマットエラー	指定されたファイルは%name%ではありません。
100	8	存在しない値(選択肢など)	紐づくデータが存在しません。
100	9	項目タイプの必須エラー	'%name%'を入力してください。
100	10	最小文字長エラー	'%name%'は <最小> 文字以上入力してください。
100	11	最大文字長エラー	'%name%'は <最大> 文字以内で入力してください。
100	12	入力制限エラー（半角数字）	'%name%' は半角数字で入力してください。
100	13	入力制限エラー（半角アルファベット）	'%name%' は半角アルファベットのみで入力してください。
100	14	入力制限エラー（半角英数）	'%name%' は半角英数のみで入力してください。

【働く DB】API 連携 設定マニュアル

100	15	入力制限エラー（半角英数記号）	'%name%' は半角英数記号のみで入力してください。
100	16	入力制限エラー（全角文字）	'%name%' は全角のみで入力してください。
100	17	入力制限エラー（全角ひらがな）	'%name%' は全角ひらがなのみで入力してください。
100	18	入力制限エラー（全角カタカナ）	'%name%' は全角カタカナのみで入力してください。
100	19	入力制限エラー（電話番号-ハイフンあり）	'%name%' は電話番号（ハイフンあり）の形式で入力してください。
100	20	入力制限エラー（電話番号-ハイフンなし）	'%name%' は電話番号（ハイフンなし）の形式で入力してください。
100	21	入力制限エラー（郵便番号-ハイフンあり）	'%name%' は郵便番号（ハイフンあり）の形式で入力してください。
100	22	入力制限エラー（郵便番号-ハイフンなし）	'%name%' は郵便番号（ハイフンなし）の形式で入力してください。
100	23	重複エラー	'%name%' に入力された値は、すでに別のレコードで設定されています。
100	24	最小値エラー	'%name%'は'<最小>'以上の数字で入力してください。
100	25	最大値エラー	'%name%'は'<最大>'以下の数字で入力してください。
100	26	最小値・最大値エラー	'%name%'は'<最小>'以上'<最大>'以下で入力してください。
100	27	最小選択個数エラー	'%name%'は'<最低>'件以上を選択してください。
100	28	最大選択個数エラー	'%name%'は'<最高>'件までを選択してください。
100	29	最小・最大選択個数エラー	'%name%'は'<最低>'件以上'<最高>'件以下までで選択してください。
100	30	Eメール形式エラー	'%name%' は Eメールの形式で入力してください。
100	31	URL 形式エラー	'%name%' は URL の形式で入力してください。
100	34	存在しない項目タイプエラー	存在しない ID が指定されています
100	35	入力フォーマットエラー	'%name%'が正しくありません。
100	36	承認フロー未選択エラー	承認フローを選択してください。
100	37	存在しない選択肢エラー	'%name%'に選択された値は、選択肢として設定されていません。
100	38	重複エラー（明細レコード）	'%name%'に入力された値は、すでに別の明細で設定されています。
100	39	日付・時間エラー	'%name%'に入力された値が、日付として正しくありません。
100	41	許可されない項目タイプエラー	'API で登録できない項目が指定されています
100	42	数値形式エラー	'%name%'は数値で入力してください。
100	43	明細項目	明細項目で details ところに指定ください。
100	44	ヘッダ項目指定位置エラー	ヘッダ項目を'details'に指定することはできません。
100	45	キー項目フォーマットエラー	'%name%'にてキー項目の形式として正しくありません。
100	46	桁数超過エラー	'%name%'は <最大> 桁で入力してください。
100	47	存在しない DB リンク値エラー	'%name%'に入力された値は、リンク先の DB のキー項目として使用されていません。
100	48	選択できない DB リンク値エラー	'%name%'に入力された値は、設定によって許可されていない値です。
100	49	計算結果の値なしによるエラー	'%name%'の計算結果が値なしにならないように入力してください。
100	50	計算結果 最大値エラー（超過）	'%name%'の計算結果が'%max%'より小さい数字になるように入力してください。
100	51	計算結果 最大値エラー（以下）	'%name%'の計算結果が'%max%'以下の数字になるように入力してください。

【働く DB】API 連携 設定マニュアル

100	52	計算結果 最小値エラー（未満）	'%name%'の計算結果が'%min%'より大きい数字になるように入力してください。
100	53	計算結果 最小値エラー（以上）	'%name%'の計算結果が'%min%'以上の数字になるように入力してください。
100	54	計算結果 最小値・最大値エラー（以上・以下）	'%name%'の計算結果が'%min%'以上'%max%'以下になるように入力してください。
100	55	計算結果 最小値・最大値エラー（超過・未満）	'%name%'の計算結果が'%min%'より大きく、'%max%'より小さい数になるように入力してください。
100	56	配列禁止エラー	%name%には、配列を登録することができません。
100	57	従属項目の自動取得モード時に、従属項目に値が指定された場合のエラー	従属項目を取得する場合は、従属項目に値を指定することができません。
100	58	キー項目への値指定禁止エラー	'%name%'を指定することはできません。
100	59	配列形式エラー	%name%'は配列形式を指定ください。
100	60	Details のフォーマットエラー	details の形式が正しくありません
100	61	対象レコードを指定する際、ID とキー項目が同時に指定された場合のエラー	ID とキー項目は、同時に指定できません。いずれか一つを指定してください。
100	62	updateDetailKeyId に指定できる要素のエラー	updateDetailKeyId には'detailKey'または'重複不可項目'の ID のみ指定できます。
100	63	承認途中のレコードに異なる承認フローの ID を指定して更新した場合のエラー	承認フローが変更できません。
100	64	JSON 形式エラー	JSON 文字列が不正です。
100	65	重複不可項目の値未指定エラー	updateDetailKeyId に指定した重複不可項目には値が必要です。
100	66	明細上限エラー	登録できる明細の上限（%max%件）を超えているので、明細を追加できません。

レスポンスのエスケープについて

以下の文字については、XSS 対策の為、HTML エスケープ処理を行っています。

※エスケープ範囲については以下(U+0000～U+001F)のとおりです。

文字	内容
¥"	二重引用符 (quotation mark)
¥¥	バックスラッシュ (reverse solidus)
¥/	スラッシュ (solidus)
¥b	後退 (バックスペース) (backspace)
¥f	改ページ (formfeed)
¥n	改行 (newline)
¥r	復帰 (carriage return)
¥t	タブ (horizontal tab)

実行結果サンプル

実行結果を以下のような形式で返します。

【成功した場合のレスポンス】

◆ヘッダ（共通）

```
HTTP/1.1 200 OK
Content-Type: application/json
X-Content-Type-Options: nosniff
```

◆ボディ（表記は一例です）

```
{
  "status": "success",
  "code": "200",
  "url": "https://your.domain/your_account/api/api_name/version/v1",
  "query": {
    "dbSchemaId": "102870",
    "importId": "100603",
    "fileId": "25"
  },
  "processId": "100685",
  "version": "v1",
  "accessTime": "2015-02-05 15:00:04 +0900"
}
```

【失敗した場合のレスポンス】

・パラメータエラーによって処理に失敗した場合

◆ヘッダ (表記は一例です)

HTTP/1.1 400 Bad Request

Content-Type: application/json

X-Content-Type-Options: nosniff

◆ボディ (表記は一例です)

```
{
  "status": "error",
  "code": "400",
  "url": "https://your.domain/your_account/api/api_name/version/v1",
  "query": {
    "param_a": "",
    "param_b": "100d603",
    "param_c": "25"
  },
  "errors": {
    "code": "100",
    "msg": "パラメータが不正です。",
    "description": [
      {
        "name": "param_a",
        "value": "",
        "code": "1",
        "msg": "必須項目です。"
      },
      {
        "name": "param_b",
        "value": "100d603",
        "code": "2",
        "msg": "型が正しくありません。"
      }
    ]
  },
  "version": "v1",
  "accessTime": "2015-02-05 14:58:16 +0900"
}
```


- ・認証エラーによって処理に失敗した場合

◆ヘッダ（表記は一例です）

```
HTTP/1.1 401 Authorization Required
Content-Type: application/json
X-Content-Type-Options: nosniff
```

◆ボディ（表記は一例です）

```
{
  "status": "error",
  "code": "401",
  "url": "https://your.domain/your_account/api/api_name/version/v1",
  "query": [],
  "errors": {
    "code": "1",
    "msg": "認証エラーです。",
    "description": []
  },
  "version": "v1",
  "accessTime": "2015-02-05 14:55:50 +0900"
}
```

ファイルアップロード API

【概要】

ファイルを一時領域にアップロードする API です。

【接続先 URL】

https://【ドメイン】/【アカウント】/api/fileupload/version/【API バージョン】

【API バージョン】

バージョン	設定値	概要
1.0	v1	初期バージョン

【ヘッダ】

パラメータ名	備考
X-HD-apitoken:\${API トークン}	API トークンについては API トークン を参照

【パラメータ】

パラメータ名	項目名	属性	必須	設定内容
uploadFile	アップロードファイル	ファイル	★	アップロードするファイル

【取得内容】

パラメータ名	項目名	属性	取得内容
fileId	ファイル ID	数値	アップロードしたファイルの ID

【注意事項】

- ・ヘッダに「Content-Type: application/json」は指定しないでください。
- ・アップロードするファイルは 2MB が上限になります。
- ・アップロードされたファイルはアップロードした時刻から 1 日後の深夜に削除されます。
削除されてしまった場合は、再度、ファイルアップロード API を利用してファイルをアップロードしてください。

CSV ファイルインポート API

【概要】

インポート設定に従い、インポートの予約を行う API です。

インポートの実行は、この API では行わず、画面上からのインポートと同様に自動で行われます。

【接続先 URL】

https://【ドメイン】/【アカウント】/api/csvimport/version/【API バージョン】

【事前準備】

事前にインポート先の DB で、「インポート設定」を作成しておいてください。

※「DB 設定（機能設定）> インポート設定一覧」より設定できます。

【API バージョン】

バージョン	設定値	概要
1.0	v1	初期バージョン

【ヘッダ】

パラメータ名	備考
Content-Type: application/json; charset=utf-8	固定
X-HD-apitoken:\${API トークン}	API トークンについては [API トークン] を参照

【パラメータ】

パラメータ名	項目名	属性	必須	設定内容
dbSchemaId	DB スキーマ ID	数値	★	インポート先の DB スキーマ ID
importId	インポート ID	数値	★	インポート先の DB で設定したインポート設定の ID
fileId	ファイル ID	数値	★	ファイルアップロード API で取得したインポートするファイル ID

【取得内容】

パラメータ名	項目名	属性	取得内容
processId	処理 ID	数値	インポート予約番号

【注意事項】

- ・インポートに利用できるファイルは拡張子が CSV のファイルのみで、ファイルサイズは 2MB が上限になります。
- ・インポート後に実行する自動処理を選択している場合、インポート件数は 5,000 件が上限になります。

CSV データインポート API

【概要】

インポート設定に従い、インポートの予約を行う API です。

インポートの実行は、この API では行わず、画面上からのインポートと同様に自動で行われます。

通常の CSV ファイルインポート API と違い、インポートする CSV データのアップロードを同時に行います。

【接続先 URL】

https://【ドメイン】/【アカウント】/api/csvdataimport/version/【API バージョン】

【事前準備】

事前にインポート先の DB で、「インポート設定」を作成しておいてください。

※「DB 設定（機能設定）> インポート設定一覧」より設定できます。

【API バージョン】

バージョン	設定値	概要
1.0	v1	初期バージョン

【ヘッダ】

パラメータ名	備考
Content-Type: multipart/form-data;	固定
X-HD-apitoken:\${API トークン}	API トークンについては [API トークン] を参照

【パラメータ(JSON 部)】

Content-Disposition: form-data; name="json"

Content-Type: application/json

パラメータ名	項目名	属性	必須	設定内容
dbSchemaId	DB スキーマ ID	数値	★	インポート先の DB スキーマ ID
importId	インポート ID	数値	★	インポート先の DB で設定したインポート設定の ID

【パラメータ(CSV データ部)】

Content-Disposition: form-data; name="uploadFile"; filename="＜ファイル名＞"

Content-Type: text/csv

【取得内容】

パラメータ名	項目名	属性	取得内容
processId	処理 ID	数値	インポート予約番号

【注意事項】

- ・ヘッダに「Content-Type: application/json」は指定しないでください。
- ・インポートに利用できるファイルは拡張子が CSV のファイルのみで、ファイルサイズは 2MB が上限になります。
- ・インポート後に実行する自動処理を選択している場合、インポート件数は 5,000 件が上限になります。

CSV インポート状況確認 API

【概要】

CSV インポート API でインポート予約したインポートの状況を確認する API です。

【接続先 URL】

https://【ドメイン】/【アカウント】/api/checkcsvimportprocess/version/【API バージョン】

【API バージョン】

バージョン	設定値	概要
1.0	v1	初期バージョン

【ヘッダ】

パラメータ名	備考
Content-Type: application/json; charset=utf-8	固定
X-HD-apitoken:\${API トークン}	API トークンについては [API トークン] を参照

【パラメータ】

パラメータ名	項目名	属性	必須	設定内容
processId	処理 ID	数値	★	CSV インポート API で取得したインポート予約番号(processId)

【取得内容】

パラメータ名	項目名	属性	取得内容
processStatus	処理状況	文字列	wait : 未処理 active : 実行中 complete : 完了
items	処理結果の配列	配列	処理結果を格納した配列
nowCondition	現在の処理状況	数値	0 : 開始待ち 1 : インポート中 2 : 完了 3 : 強制終了
progress	進捗率	数値	インポートの進捗率(%)
succeedCount	成功したレコード数	数値	インポートに成功したレコード数
failureCount	失敗したレコード数	数値	インポートに失敗したレコード数

【注意事項】

- ・インポートに失敗レコードについては「インポート状況確認」画面よりダウンロード出来る「エラーデータ.csv」より失敗した原因を確認することができます。

CSV エクスポート API

【概要】

指定したテーブルのレコードをエクスポートする API です。

【接続先 URL】

https://【ドメイン】/【アカウント】/api/csvexport/version/【API バージョン】

【事前準備】

- ・エクスポート時に絞込みを行う場合は事前にエクスポート対象の DB で、「絞込み設定」を作成して下さい。
※「DB 設定（表示設定）> 絞込み設定一覧」より設定できます。
- ・エクスポートする列を指定する場合は事前にエクスポート対象の DB で、「レコード一覧設定」を作成して下さい。
※「DB 設定（表示設定）> レコード一覧画面設定一覧」より設定できます。
※指定しない場合は、デフォルトのレコード一覧画面の設定が適用されます。

【API バージョン】

バージョン	設定値	概要
1.0	v1	初期バージョン

【ヘッダ】

パラメータ名	備考
Content-Type: application/json; charset=utf-8	固定
X-HD-apitoken:\${API トークン}	API トークンについては [API トークン] を参照

【パラメータ】

パラメータ名	項目名	属性	必須	設定内容
dbSchemaId	DB スキーマ ID	数値	★	エクスポート元の DB スキーマ ID
searchId	絞込み ID	数値		エクスポート元の DB の絞込み ID
listId	レコード一覧画面 設定 ID	数値		エクスポート元の DB のレコード一覧画面設定 ID
limit	取得件数	数値		エクスポートするレコード件数（デフォルト 10 件）
offset	取得開始件数	数値		エクスポートを開始する件数（デフォルト 1 件目）

【取得内容】

- ・CSV 形式のレコード一覧。(1 行目には各レコードの列名が入っています。)
- ・文字コードは UTF-8。

【注意事項】

- ・取得件数は親レコードの件数がカウントされます。明細行はカウントされません。
- ・searchId の指定がなければ、絞込みの指定なしとなります。
- ・listId の指定がなければ、すべての項目が対象となります。
※未設定のレコード一覧画面設定を指定した場合、何も出力することができないので、エラーになります。
- ・limit の指定がなければ、デフォルトは 10 件です。指定できる最大件数は 200 件です。
- ・offset の指定がなければ、デフォルトは 1 件目からです。

レコード登録 API

【概要】

レコード 1 件を新規登録する API です。

【接続先 URL】

https://【ドメイン】/【アカウント】/apirecord/regist/version/【API バージョン】

【API バージョン】

バージョン	設定値	概要
1.0	v1	初期バージョン

【ヘッダ】

パラメータ名	備考
Content-Type: application/json; charset=utf-8;	固定
X-HD-apitoken:\${API トークン}	API トークンについては [API トークン] を参照

【パラメータ】

パラメータ名	項目名	属性	必須	設定内容
dbSchemaId	DB スキーマ ID	数値	★	登録対象の DB スキーマ ID
getSubordinate	従属項目の取得をする/しない	数値		従属項目の取得をする : 1 従属項目の取得をしない : 0 (デフォルト)
approvalFlowId	承認フローID	数値		登録時に適用する承認フローID 承認全体設定で「承認フローの使用を必須にする」が設定されている場合、承認フローID が指定されていない場合エラーになります。
keyMode	キー項目登録モード	数値		自動採番を優先する : 0 入力したキーの値を優先する : 1 キー項目の採番方法に「自動採番」「選択肢 + 自動採番」「年 (西暦) + 自動採番」「年 (和暦) + 自動採番」が設定されている場合、必須項目です。
values	登録データ	-	★	登録対象の項目 ID と値を設定します。 ※後述する【レコード登録時の JSON 書式】をご覧ください。

【取得内容】

パラメータ名	項目名	属性	取得内容
key	キー項目の値	文字列	登録したレコードのキー項目の値。キー項目を持たない DB の場合は、出力しません。
id	レコードの ID	文字列	登録したレコードの ID。

【レコード登録時の JSON 書式】

レコード登録時の JSON の基本書式は以下の通りです。

「ヘッダ項目の ID」および「明細項目の ID」については、「API パラメータ情報画面」よりご確認ください。

```
{
  "dbSchemaId": "【DB スキーマ ID】",
  "values": { ← ヘッダ項目の値は values 直下に指定します。
    "【ヘッダ項目の ID】": "【登録する値】",
    :
    "details": [ ← 明細項目の値は values 配下の details に配列形式で指定します。
      { ← 明細 1 行目
        "【明細項目の ID】": "【登録する値】",
        :
      },
      { ← 明細 2 行目
        "【明細項目の ID】": "【登録する値】",
        :
      }
    ]
  }
}
```

【それぞれの項目タイプに登録する値の書式】

タイプ	書式
キー	<p>[入力例]</p> <p>"105110" : "A00000001"</p> <hr/> <p>キー項目の採番方法に「自動採番」「選択肢 + 自動採番」「年（西暦） + 自動採番」「年（和暦） + 自動採番」が設定されている場合、keyMode パラメータを使用して、「自動採番で登録する」「入力した値を使用して登録する」のいずれかを指定することができます。</p>

	<p>keyMode が 0 の場合</p> <p>自動採番で登録します。</p> <p>「自動採番」⇒ 値の指定は不要です。</p> <p>「選択肢 + 自動採番」⇒ API からは「選択肢」の部分のみ指定してください。</p> <p>「年（西暦） + 自動採番」⇒ 値の指定は不要です。</p> <p>「年（和暦） + 自動採番」⇒ 値の指定は不要です。</p> <p>keyMode が 1 の場合</p> <p>入力した値を使用して登録します。</p> <p>「自動採番」⇒ 入力した値をキー値に適用します。</p> <p>「選択肢 + 自動採番」</p> <p>「年（西暦） + 自動採番」</p> <p>「年（和暦） + 自動採番」</p> <p>⇒ 選択肢、年、先頭に付ける文字、最後に付ける文字、接続文字など、 全てを結合した文字列を指定してください。</p> <p>キー項目の設定で定義したフォーマットと異なる文字列が指定された場合、入力エラーになります。</p>
テキスト（1 行）	<p>[入力例]</p> <p>“105111”：“テキスト（1 行）”</p>
テキスト（複数行）	<p>[入力例]</p> <p>“105112”：“テキスト（複数行）¥n テキスト（複数行）”</p>
数値	<p>[入力例]</p> <p>“105113”：“10”</p>
選択肢（1 件選択）	<p>[入力例]</p> <p>“105114”：“選択肢 1 ”</p> <hr/> <p>選択肢要素の文字列を指定してください。</p>
選択肢（複数件選択）	<p>[入力例]</p> <p>“105115”：[“選択肢 A” , “選択肢 B” , “選択肢 C”]</p> <hr/> <p>選択肢要素を、JSON の配列形式で指定してください。</p> <p>空の配列“[]”を指定した場合は、空の値で更新します。</p>

ユーザ選択肢（1 件選択）	<p>[入力例]</p> <p>“105116”：“田中一郎”</p> <hr/> <p>ユーザ名を指定してください。</p>
ユーザ選択肢（複数件選択）	<p>[入力例]</p> <p>“105117”：[“田中一郎”, “鈴木次郎”]</p> <hr/> <p>ユーザ名を、JSON の配列形式で指定してください。 空の配列“[]”を指定した場合は、空の値で更新します。</p>
日時	<p>[入力例]</p> <p>“105118”：“2017/06/21 14:25:12”</p> <hr/> <p>以下の 4 つの書式で入力することが可能です。</p> <p>2008-10-10 10:10:10</p> <p>2008/10/10 10:10:10</p> <p>20081010 101010</p> <p>2008 年 10 月 10 日 10 時 10 分 10 秒</p>
時間	<p>[入力例]</p> <p>“105119”：“10 時 20 分 35 秒”</p> <hr/> <p>以下の 3 つの書式で入力することが可能です。</p> <p>101010</p> <p>10:10:10</p> <p>10 時 10 分 10 秒</p>
DB リンク項目	<p>[入力例]</p> <p>“105120”：“100001”</p> <hr/> <p>リンク先 DB のキー項目の値を指定してください。</p> <p>getSubordinate パラメータが 0 の場合 関連する従属項目の値の取得を行いません。</p> <p>getSubordinate パラメータに 1 の場合 関連する DB リンク項目から、従属項目の取得を行います。 このモードの時に従属項目に値を直接指定することはできません。</p>
従属項目	<p>[入力例]</p> <p>“105121”：“品名”</p>

URL	[入力例] "105122" : " http://example.com "
Eメール	[入力例] "105123" : "example@example.com"

【注意事項】

- ・レコード登録 API を使用した場合、登録後の自動処理は実行しません。
- ・登録時の通知メールやアラートメールは「通知メール設定」で設定した内容に従って行います。
- ・レコード登録 API を使用する場合、アクセス権限による入力制限は行いません。
レコード追加権限もしくは項目編集権限持っていないユーザに紐づくトークンでも API でレコードを登録できます。
- ・入力値に二重引用符などの特殊文字を使用する場合は、エスケープ文字を付加して指定してください。

表記	意味
¥"	二重引用符
¥¥	¥マーク
¥/	スラッシュ
¥n	改行

- ・パラメータで指定しない項目タイプは登録対象外です。また、項目タイプに設定された初期値は、反映しません。
- ・「数値計算」、「自動採番」、「日時と時間の量の計算」、「日時と日時の計算」、「ファイル」、「イメージ」、「働くDBファイル」の項目はレコード登録 API で直接値を指定することはできません。
ただし、他の数値項目などを基にした計算処理の結果などは反映します。
- ・レコードの登録者、最終更新者には、API トークンに紐づくユーザを適用します。
- ・JSON 文字列に「タブ文字」「改行文字」が含まれる場合など、JSON として解釈できない場合、エラーになります。

【レコード登録 API に使用する JSON の例】

```
{
  "dbSchemaId": "1000001",
  "getSubordinate": "0",
  "approvalFlowId": "1000001",
  "keyMode": "0",
  "values": {
    "105110": "key0000001",
    "105111": "テキスト（1 行）",
    "105112": "テキスト（複数行）¥n テキスト（複数行）",
  }
}
```

```
"105113": "10",
"105114": "選択肢 1 ",
"105115": ["選択肢 A", "選択肢 B ", "選択肢 C "],
"105116": "田中一郎",
"105117": ["田中一郎", "鈴木次郎"],
"105118": "2017/06/21 14:25:12",
"105119": "10 時 20 分 35 秒",
"105120": "100001",
"105121": "http://example.com",
"105122": "example@example.com",
"details": [
  {
    "105132": "明細テキスト（複数行）¥n 明細テキスト（複数行） ",
    "105133": "10"
  },
  {
    "105133": "12",
    "105134": "田中一郎"
  }
]
}
```


レコード更新 API

【概要】

レコード 1 件を更新する API です。

【接続先 URL】

https://【ドメイン】/【アカウント】/apirecord/update/version/【API バージョン】

【API バージョン】

バージョン	設定値	概要
1.0	v1	初期バージョン

【ヘッダ】

パラメータ名	備考
Content-Type: application/json; charset=utf-8;	固定
X-HD-apitoken:\${API トークン}	API トークンについては [API トークン] を参照

【パラメータ】

パラメータ名	項目名	属性	必須	設定内容
dbSchemaId	DB スキーマ ID	数値	★	更新対象の DB スキーマ ID
id	レコード ID	数値	▲	更新対象のレコード ID keyId または id のいずれかが必須です。
keyId	キー項目	文字列	▲	更新対象のレコードのキー項目の値 keyId または id のいずれかが必須です。
getSubordinate	従属項目の取得をする/しない	数値		従属項目の取得をする : 1 従属項目の取得をしない : 0 (デフォルト)
approvalFlowId	承認フローID	数値		更新時に適用する承認フローID 既に承認依頼されているレコードに対して、異なる承認フローID を指定するとエラーになります。
updateDetailKeyId	明細キーあるいは重複不可項目 ID	文字列		「更新する明細行の指定」に使用する項目を指定します。 明細行の指定は、以下のいずれかの方法で行うことができ

				<p>ます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明細キーを使用する ・重複不可項目を使用する <p>[明細キーを使用する場合]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・updateDetailKeyId に文字列"detailKey"を指定します。 ・details パラメータ中の"detailKey"に明細キーの値を指定します。 ・明細キーの書式は、「レコードのキー項目の値 "ー" 行番号」です。 <p>[重複不可項目を使用する場合]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・updateDetailKeyId に重複不可項目の ID を指定します。 ・details パラメータ中に重複不可項目の ID と値を指定します。 <p>いずれの方法でも、明細キーや、重複不可項目が、既に存在している明細と合致しない場合は、末尾に新規行として追加します。</p>
values	更新データ	-	★	<p>更新対象の項目 ID と値を設定します。</p> <p>※後述する【レコード更新時の JSON 書式】をご覧ください。</p>

【取得内容】

パラメータ名	項目名	属性	取得内容
key	キー項目の値	文字列	更新したレコードのキー項目の値。 キー項目を持たない DB の場合は、出力しません。
id	レコードの ID	文字列	更新したレコードの ID。

【レコード更新時の JSON 書式】

レコード登録時の JSON の基本書式は以下の通りです。

「ヘッダ項目の ID」および「明細項目の ID」については、「API パラメータ情報画面」よりご確認ください。

```
{
  "dbSchemaId": "【DB スキーマ ID】",
  "id": "【更新対象のレコードの ID】",
  ("keyId": "【更新対象のレコードのキー項目の値】",)

  "updateDetailKeyId": "detailKey" ← 「更新する明細行の指定」に明細キーを使用する場合
  ("updateDetailKeyId": "【明細の重複不可項目の ID】") ← 重複不可項目の値を使用する場合

  "values": { ← ヘッダ項目の値は values 直下に指定します。
    "【ヘッダ項目の ID】": "【更新する値】",
    :
    "details": [ ← 明細項目の値は values 配下の details に配列形式で指定します。
      { ← 明細 1 行目 (更新)
        "detailKey": "【更新する行の明細キー】", (例: key0000001-1)
        ("【明細の重複不可項目の ID】": "【更新する行の重複不可項目の値】", )
        "【明細項目の ID】": "【更新する値】",
        :
      },
      { ← 明細 2 行目 (新規登録。明細行を特定する値や一致する行が無い場合、新規行を登録します)
        "【明細項目の ID】": "【登録する値】",
        :
      }
    ]
  }
}
```

【それぞれの項目タイプに登録する値の書式】

※レコード登録 API の項をご確認ください。

【注意事項】

- ・レコード更新 API を使用した場合、更新後の自動処理は実行しません。
- ・更新時の通知メールやアラートメールは「通知メール設定」で設定した内容に従って行います。
- ・レコード更新 API を使用する場合、アクセス権限やレコードアクセス権による入力制限は行いません。
項目編集権限持っていないユーザに紐づくトークンでも API でレコードを更新できます。
- ・入力値に二重引用符などの特殊文字を使用する場合は、エスケープ文字を付加して指定してください。

表記	意味
¥"	二重引用符
¥¥	¥マーク
¥/	スラッシュ
¥n	改行

・パラメータで指定しない項目タイプは更新対象外です。

・「数値計算」、「自動採番」、「日時と時間の量の計算」、「日時と日時の計算」、「ファイル」、「イメージ」、「働くDBファイル」の項目はレコード更新 API で直接値を指定することはできません。

ただし、他の数値項目などを基にした計算処理の結果などは反映します。

・レコードの最終更新者には、API トークンに紐づくユーザを適用します。

・JSON 文字列に「タブ文字」「改行文字」が含まれる場合など、JSON として解釈できない場合、エラーになります。

・ラベルが登録されている URL 項目をレコード更新 API で更新すると、ラベルをクリアして URL を更新します。

【レコード更新 API に使用する JSON の例】

```
{
  "dbSchemaId": "1000001",
  "id": "10",
  ("keyId": " key0000001"),
  "getSubordinate": "0",
  "approvalFlowId": "101142",
  "updateDetailKeyId ":"detailKey",
  ("updateDetailKeyId ":"105131"),
  "values": {
    "105111": "テキスト（1 行）",
    "105112": "テキスト（複数行）¥n テキスト（複数行）",
    "105113": "10",
    "105114": "選択肢 1",
    "105115": ["選択肢 A", "選択肢 B ", "選択肢 C "],
    "105116": "田中一郎",
    "105117": ["田中一郎", "鈴木次郎"],
    "105118": "2017/06/21 14:25:12",
    "105119": "10 時 20 分 35 秒",
    "105120": "100001",
    "105121": "http://example.com",
    "105122": "example@example.com",
    "details": [
```

```
        {
            "detailKey": " key0000001-1",
            ("105131": "重複不可項目 00001",)
            "105132": "指定した明細行を更新します。"
        },
        {
            "detailKey": " key0000001-3,
            ("105131": "重複不可項目 00003",)
            "105132": "指定した明細行を更新します。"
        },
        {
            "105132": "この行は新規登録します。"
        },
    ],
}
}
```

レコード削除 API

【概要】

レコード 1 件を削除する API です。

【接続先 URL】

https://【ドメイン】/【アカウント】/apirecord/delete/version/【API バージョン】

【API バージョン】

バージョン	設定値	概要
1.0	v1	初期バージョン

【ヘッダ】

パラメータ名	備考
Content-Type: application/json; charset=utf-8;	固定
X-HD-apitoken:\${API トークン}	API トークンについては [API トークン] を参照

【パラメータ】

パラメータ名	項目名	属性	必須	設定内容
dbSchemaId	DB スキーマ ID	数値	★	削除対象の DB スキーマ ID
id	レコード ID	数値	▲	削除対象のレコード ID keyId または id のいずれかが必須です。
keyId	キー項目	文字列	▲	削除対象のレコードのキー項目の値 keyId または id のいずれかが必須です。

【取得内容】

パラメータ名	項目名	属性	取得内容
key	キー項目の値	文字列	削除したレコードのキー項目の値。 キー項目を持たない DB の場合は、出力しません。
id	レコードの ID	文字列	削除したレコードの ID。

【注意事項】

- ・削除時の通知メールやアラートメールは「通知メール設定」で設定した内容に従って行います。

- ・レコード削除 API は、レコード単位で削除を行います。特定の明細 1 行を指定した削除はできません。
- ・レコード削除 API を使用する場合、アクセス権限やレコードアクセス権による入力制限は行いません。
レコード削除権限もしくは項目編集権限持っていないユーザに紐づくトークンでも API でレコードを削除できます。
- ・承認設定で、削除できない設定となっているレコードも削除することが可能です。
- ・JSON 文字列に「タブ文字」「改行文字」が含まれる場合など、JSON として解釈できない場合、エラーになります。

レコード参照 API

【概要】

レコード 1 件を参照する API です。

【接続先 URL】

https://【ドメイン】/【アカウント】/apirecord/view/version/【API バージョン】

【API バージョン】

バージョン	設定値	概要
1.0	v1	初期バージョン

【ヘッダ】

パラメータ名	備考
Content-Type: application/json; charset=utf-8;	固定
X-HD-apitoken:\${API トークン}	API トークンについては [API トークン] を参照

【パラメータ】

パラメータ名	項目名	属性	必須	設定内容
dbSchemaId	DB スキーマ ID	数値	★	参照対象の DB スキーマ ID
id	レコード ID	数値	▲	参照対象のレコード ID keyId または id のいずれかが必須です。
keyId	レコードのキー項目 ID	キー項目	▲	参照対象のレコードのキー項目の値 keyId または id のいずれかが必須です。
viewId	閲覧画面設定 ID	数値		レコード閲覧画面設定の ID レコード閲覧画面設定で定義した「項目タイプ」および「参照専用項目」を出力します。 閲覧画面設定 ID を指定しない場合、DB 全体設定で設定されている【デフォルトレコード閲覧】の内容を出力します。
responseType	出力タイプ	数値	★	出力結果の JSON のキーに何を出力するかを指定します。 項目 ID : 0 項目タイプ名 : 1

				<p>「項目タイプ名」を指定した場合、固定項目名と同じ名称の項目タイプがある場合、結果が正しく取得できません。 項目タイプ名を変更するか、「項目 ID」を指定してください。</p> <p>[システムで使用する固定項目名] [ID]、 [登録日]、[登録ユーザ]、[更新日]、[更新ユーザ] details, 行, 明細キー</p>
--	--	--	--	---

【取得内容】

- 以下の書式の JSON 文字列を出力します。

「ヘッダ項目の ID」および「明細項目の ID」については、「API パラメータ情報画面」よりご確認ください。

```
{
  "【ヘッダ項目名または項目タイプ ID】" : "【値】"
  :
  "details" : [ ← 明細項目の値は details に配列形式で出力します。
    {
      "【明細項目名または項目タイプ ID】" : "【値】",
    },
    {
      "【明細項目名または項目タイプ ID】" : "【値】",
    },
  ]
}
```

- 出力する値は、項目タイプ設定で設定した表示用書式に従って出力します。
- URL 項目についてのみ、以下の書式で値を出力します。

```
{
  "【URL 項目名または項目タイプ ID】" : {
    "url" : 【URL の値】
    "label" : 【ラベルの値】
  }
}
```

- 項目タイプ以外に出力する値については、次の通りです。

パラメータ名	項目名	属性	取得内容
id	ID	数値	レコードの ID。

registDate	登録日	日付	レコードの登録日時。
registUser	登録ユーザ	文字列	レコードを登録したユーザの名前。
updateDate	更新日	日付	レコードの最終更新日時。
updateUser	更新ユーザ	文字列	レコードを最後に更新したユーザの名前。
line	行	数値	明細の行番号。
detailKey	明細キー	文字列	明細のキー（レコードのキー項目の値 "-" 行番号）。

【注意事項】

- ・レコード閲覧画面設定で定義できる、以下の項目については、レコード参照 API では出力しません。
 - 現在日時
 - ログインユーザー
 - 日時と日時の計算
 - 日時と時間量の計算
 - 固定値
 - 文字連結
 - 見出し
 - 区切り線
 - 空白行
- ・レコード参照 API を使用する場合、アクセス権限やレコードアクセス権による入力制限は行いません。
項目参照権限持っていないユーザに紐づくトークンでも API でレコードを参照できます。
- ・JSON 文字列に「タブ文字」「改行文字」が含まれる場合など、JSON として解釈できない場合、エラーになります。

サンプルプログラム(PHP・Java)

PHP、Java のサンプルプログラムを用意しております。

必要な場合は本書、最後尾に記載の[【働く DB サポート窓口】](#)までご連絡ください。

働く DB サポート窓口

【働く DB サポート窓口】

メールアドレス：hdb-support@rakus.co.jp

受付時間：平日 9：30～17：00

※土日祝・弊社休業日を除く